

平成30年度 指定管理業務 評価票

せんなん里海公園	【指定管理者】さとうみプロジェクト	【指定期間】平成30年4月1日 ～ 平成35年3月31日	【所管課】 岸和田土木事務所 都市みどり課
----------	-------------------	------------------------------	--------------------------

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【せんなん里海公園】 評価委員会の指摘・提言
		評価 (S～C)		評価 (S～C)		
I 提案の履行状況に関する項目						
(1) 施設の設置目的及び管理方針	管理に関する基本的な考え方に沿った管理運営が出来たか。	<p>【実績】</p> <p>○管理方針「3つのふれあいデビュー」の実現のため、以下のイベントを実施した。</p> <p>【自然とのふれあい“ときめきデビュー”】</p> <p>4/1海藻おしぼ教室(24人参加)／5/26大阪湾生き物一斉調査(60人参加)／6/6ユウカリリースづくり(18人参加)／6/24親子しぜん体験会(さとうみ磯浜観察会)(34人参加)／6/24ササユリまつり(545人参加)／7/1カブトムシの展示／7/31チリメンモンスターを探そう(17人参加)／8/12陸ガニの放仔を観察しよう！(36人参加)／8/25ウミホタル観察会(100人参加)／8/2ウミホタル観察会(20人参加)／9/2陸ガニウォッチング(296人参加)／9/24親子しぜん体験会(夜間の星空観察会)(50人参加)</p> <p>【砂とのふれあい“ビーチデビュー”】</p> <p>4/22ビーチテニス教室(15人参加)／5/5裸足キッズ大集合(109人参加)／6/13ビーチバレー教室(5人参加)／ビーチサッカー教室(130人参加)／9/15ランサップヨガ(400人参加)／9/8ときめきビーチフェスタ(200人参加)／9/16サンセットヨガ(50人参加)／9/16ビーチハンドボール大会(200人参加)／10/28三施設物語ノルディック・ウォーク(20人参加)／11/10ヨガ教室(21人参加)</p> <p>【地域とのふれあい“人、まち、元気デビュー”】</p> <p>11/13フォトコンテスト(50点応募)／4/14～5/14鯉のぼりの掲揚／5/3阪南産業フェス(13,000人来場)／6/23～7/9七夕飾りの短冊(250枚応募)／9/2さくらフェス(4,000人来園)／10/28RUN伴2018(100人参加)</p> <p>【自己評価】</p> <p>○提案内容に従い、いつ来ても、何度来ても、はじめてのふれあいを感じていただけるような公園づくりに努めることができた。</p> <p>○提案事項にない新たなイベントを実施することができ、多くの来園者が訪れたため、S評価とした。</p>	S	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○地域住民や自然環境保全団体と協働するとともに、近隣施設との共催イベントを開催するなど、地域全体の賑わいや健康増進の機会を提供している。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>地域住民や自然環境保全団体と協働するとともに、近隣施設との共催イベントを開催するなど、地域全体の賑わいや健康増進の機会を提供している点は評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>
(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	平等利用に努めたか。	<p>【実績】</p> <p>○ホームページやフェイスブック、ツイッター、広報誌などにより幅広く情報発信を行い、より多くの方々に等しく情報が伝わるよう配慮した。</p> <p>○あらゆる人々が楽しく快適に利用できるようなユニバーサルサービスの提供を目指し、お困りの方がいらっしゃる場合には優しくお声かけをし、サポートを行った。</p> <p>○施設の使用許可や園内公園許可に際し、公平性、透明性の観点から適正な対応を行った。</p> <p>○ホームページ読み上げソフト対応として、PDFで掲載しているイベントチラシの横に同じ文面を記載した。</p> <p>○施設窓口で外国人利用者に英会話やスペイン語で案内できるように人員を配置した。</p> <p>○駐車場案内やBBQ案内などの園内放送を日本語のほか、英語で行った。</p> <p>○7月から8月の海水浴期間にかけて、園内放送を日本語のほか、英語で行った。</p> <p>○園内にある3箇所の総合案内板を更新し、触知板も新たに更新した。</p> <p>○車イスが海岸へとスムーズに移動できるよう、ルートとなる園路の舗装を改善した。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○提案どおり公平かつ公正な一貫したルールに基づく管理運営を行うとともに、様々な媒体を活用して多くの方々に情報を発信することができたため、A評価とした。</p>	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○ホームページやフェイスブック等効果的な情報発信を行うとともに、公園内のサイン等の更新を行い、あらゆる方が利用しやすい環境の整備に努めた。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施できている。</p> <p>障がい者への配慮、SNSを用いた広報活動、ならびに、外国人利用者に対する外国語での案内対応などは評価できる。</p> <p>引き続き、幅広い利用者の平等利用促進に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【せんなん里海公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(3) 利用者の増加を図るための 具体的手法・効果	公園利用者の利便性の向上がなされたか。(応募時に提案した利用者増加のための工夫がなされたか、魅力的なプログラムに取り組んだか。スポーツ施設等の稼働状況を踏まえた、今後の運営への反映に取り組まれているか。) ※公園を特徴づける有料施設等の稼働率の確認。来園者数の確認 ※イベント等の実施回数及びイベント等の参加者数の確認	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○来園者数(H30年4月~11月)は、377,011人であった。(前年比82%) ○ビーチバレーコート稼働率(H30年4月~11月平均)は、22.7%であった。(前年比4.1%増) ○イベント等の実施回数及び参加者数は、(1)施設の設置目的及び管理方針を参照のこと。 ○「里海公園NEWS!」を発刊、バリアフリーマップやBBQマップ、さくらのみごろ、あじさいマップなどの案内情報を窓口で配布し、HPにも掲載、オリジナル「生きもの観察日誌」を製作して、イベント時に配布した。 ○「Wi-Fiスポット」を設置、ライブカメラでさとうみ磯浜のリアルタイム映像をHPで公開、ドローンによる空撮映像をPVビデオとして配信、楽習館の軒下の手の届く場所に鯉のぼりを掲揚し、インスタ映スポットを提供した。 ○地域の旅館組合と連携した「合宿パッケージプラン」、コート料金、観覧席料金、更衣室料金をセットにした割引サービス「ビーチスポーツ大会お徳なセットプラン」、近隣マリンロッジ海風館と連携した「スポーツ合宿プラン」を企画し、利用者を募った。 ○「いこらもーる泉佐野」への協賛登録を行い、プレゼント品を提供、「駅の道みさき夢灯台」に公園パンフレットを設置、ポスターを掲示した。 ○潮騒ビバレー内に休憩室兼授乳室を設置、車椅子、砂浜用車椅子の貸し出した。 ○海岸部にビーチバレーコート8面を設置、ボールなどを貸し出した。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○提案どおりイベント、情報発信、お得プランの提示、物品の貸し出しとサポートなど、利便性の向上と園内利用の活性化に努めることができた。 ○加えて、提案事項にない、ネット環境や映像を駆使した情報発信、地域と連携したお得プランを提供することができたため、S評価とした。 	S	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○ドローンによる公園全景の空撮映像や、さとうみ磯浜付近に設置したライブカメラ映像を公園HPで大きく宣伝した結果、初めて公園の存在を知り来園したという利用者が多数おられた。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>地元旅館組合と連携したプランの拡張、フリーWiFiによる情報アクセスの向上策、ドローンによる公園全景の空撮映像や、さとうみ磯浜付近に設置したライブカメラ映像を配信し広報に努めた点などは評価できる。</p> <p>引き続き、幅広い利用者の利便性向上に努められたい。</p>
	収益事業の実施状況、(応募時に提案した収益事業に取り組んでいるか、また、その実施状況について確認。)(※ Aグループのみ、Bグループも実績があれば記載可)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「阪南産業フェス」、「岬ライオンズクラブビーチスポーツ大会」、「さくらフェス」といった地域主体のイベントや大会の開催に協力し、主催者より公園事業協力金に賛同を得た。 ○「スケルトンカヤックの貸出し」を7/6から開始、11/30まで実施した。(利用実績:7月2件、8月24件、9月23件、10月15件、11月28件)。利用促進PRとして、のぼり旗を15本設置、産経新聞に記事掲載、ドローン空撮によるPVビデオを制作してHPやYouTubeにアップ、今月で終わっちゃうよ割引キャンペーンなどを実施した。 ○潮騒ビバレーにコインロッカーを設置した。 ○収益事業の還元方策として、オリジナルの「観察日誌帳」を作成、イベント時に配布した。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○提案どおり、全ての収益事業を実施することができた。 ○加えて、スケルトンカヤックの貸し出しでは、積極的なPR活動が功を奏し、想定以上の利用があり、また、収入の一部を公園利用活性化へと還元することができたため、S評価とした。 	S	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○スケルトンカヤックの貸し出しや、コインロッカーの設置により、利用者の利便性の向上に貢献した。</p> <p>○収益により観察日記帳を作成し、イベント時に無料配布することにより、利用者サービスの向上につなげた。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施できている。</p> <p>スケルトンカヤックの貸し出しや、コインロッカーの設置、観察日記帳を作成し、イベント時に無料配布した点などは評価できる。</p> <p>さらなる収益事業拡張に向けたイベントに期待したい。</p>
	トラブルの未然防止や、発生した際の処理方針、今後の管理への反映がなされたか。(接遇等の職員研修の実施状況、苦情件数や対応処置の記録についての確認。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○朝礼や所内ミーティングを通じて、他公園でのトラブル、苦情、要望等の情報を共有し、事故防止の注意喚起を徹底、特に、利用者への接遇面での対応には、細心の注意を促した。 ○トラブルや苦情が発生した際には、速やかに現地で事実確認を行い原因を特定、排除方法を見極め、拡大の防止に努めた。 ○苦情や要望は、誠実にお聞きし、公園の管理方針やルール等を丁寧に説明、理解を得られるように努めた。 ○安全教育研修を毎月実施し、他の公園事故事例の紹介やKY活動などを行った。 ○苦情・要望の件数は0件、事故・事件の件数は8件で、内容は、4/3さとうみ磯浜へ所属不明ボートが侵入、4/16さとうみ磯浜にスナメリの死骸が漂着、4/23ときめきビーチ突堤のグレーチング蓋が落下、5/3自然海岸沖に水死体を発見、8/23岬ビーチハウス男子大便器損壊、9/22来園者が夜間照明の不点灯を発見、10/29ビーチビーチで水死体を発見、11/10阪南トイレ4の自販機が荒らされ破損、であった。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○提案どおり、大阪府や関連機関との連携のもと、トラブル防止や発生時の処理、苦情処理、運営・維持管理への反映が的確にできたため、A評価とした。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○職員の接遇の改善に努めるとともに、事故防止のための安全教育を実施している。</p>	A	<p>事業実施計画書、公園管理要領等に定める内容に沿って適切に実施されている。</p> <p>苦情対応やトラブルの未然防止に向けた職員の研修実施や、接遇の改善などは評価できる。</p> <p>引き続き、トラブルの未然防止に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【せんなん里海公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	草地管理、芝生地管理、樹木管理、花壇管理について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。利用や景観への配慮がなされているかの確認。)	<p>【実績】</p> <p><主要植物管理></p> <p>○クロマツでは、4/8枯木を伐採10本、5/14・6/14マツノマダラカミキリムシ防除のため薬剤散布、5/9・10下枝の剪定6本、7/2支障枝の剪定2本、7/26樹木点検の結果から支障枝を剪定1本、9/5~10/11台風21号による倒木を伐採8本及び多数の枝折れを処理、11/9枯木を伐採3本、を実施した。</p> <p>○ヤマモモでは、4/4枝透かし剪定2本、台風21号による倒木を伐採4本、11/7枝透かし剪定5本、を実施した。</p> <p><草地管理></p> <p>○除草A区域は8回目、除草B区域は7回目、除草C区域は7回目、除草D区域は5回目、除草E区域は2回目、除草F区域は1回目と、各々の除草を実施した。</p> <p>○9/18クローバーの丘の一部を除草をせずに草を残し、バッタなど昆虫の棲み家とした。</p> <p><樹木管理></p> <p>○整枝剪定(26本)</p> <p>○支障枝剪定(56本)</p> <p>○低木剪定(6/9、11/7、10/31)</p> <p>○低木植込地の除草(6/14)</p> <p>○枯木の伐採(3本)</p> <p>○台風21号の被害木の処理(80本)</p> <p>○サクラのお礼肥(107本)</p> <p>○カシナガキクイムシ対策(8本)</p> <p>○危険木点検を実施(6/14、7/16)</p> <p>○樹木再生プロジェクトについて、『第8回みどりのまちづくり賞(奨励賞)』を受賞(10/31)</p> <p>○ハマユウプロジェクト(9/20種の採種、9/26ポット100個に播種)</p> <p><花壇管理></p> <p>○4/1~4/31花壇の除草</p> <p>○5/19春期花苗2,960苗を植付け</p> <p>○7/17花壇の除草</p> <p>○7/21草花の切り戻し</p> <p>○8/8~10/1花壇の除草</p> <p>○11/3~11/6秋期花苗2,818株を植付け</p> <p>【自己評価】</p> <p>○提案どおり全ての項目の実施に加え、計画以上の除草を状況に合わせて実施、美観、利用面共に良好な園内環境を来園者へと提供できたため、S評価とした。</p> <p>○樹木再生プロジェクトは、地味ではあるが、この場所の風景の根幹を支える貴重な取り組みとして高い評価を受けた。</p>	S	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○来園者に快適な環境と景観を提供するために、適切な植物管理を実施している。</p>	A	<p>事業実施計画書の提案などに沿った草地管理等が行われている。</p> <p>来園者に快適な環境と景観を提供するために、適切な植物管理を実施している点は評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>
	園内清掃について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。利用や美観への配慮がなされているかの確認。)	<p>【実績】</p> <p><園内清掃></p> <p>○イルカ遊園・うみべの里・タコ遊園・クローバーの丘などは週4回、階段護岸・園路・潮騒ビバレー周辺・岬BBQ区域・岬臨駐などは週2回、芝生の丘・阪南臨駐・阪南BBQ区域などは週1回、うみべの森は隔週1回、さとうみ磯浜は月1回、チップヤード海側は年1回と、計画通り清掃を実施した。</p> <p>○清掃区域B~E(標準週2回~月1回)についても、4月~11月の繁忙期は週3回清掃を実施した。</p> <p>○GW(5/2~5/7)は、翌日に園内が清潔に保たれるよう、毎日夕刻に清掃を実施した。</p> <p>○7月・8月の海水浴期間は、毎日2回の清掃を実施した。</p> <p>○さとうみ磯浜一斉清掃を3回実施した(6/4・10/10・11/12)。</p> <p>○8/19海洋センターと連携して、園外周辺の清掃を実施した。</p> <p><便所清掃></p> <p>○全トイレにつき、計画通りの週2回の清掃を実施した。</p> <p>○GW(5/2~5/6)は毎日清掃を実施した。</p> <p>○7月・8月は、海水浴エリアにあるトイレ7箇所は、毎日清掃を実施した。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○提案どおり全ての項目の実施に加え、繁忙期には計画以上の清掃を実施、美観、利用面共により良好な環境を来園者へと提供できたため、S評価とした。</p>	S	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○園内各施設の清掃を適切に実施し、来園者への快適な環境の提供に努めている。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>園内各施設の清掃を適切に実施し、来園者への快適な環境の提供に努めている点は評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>
	プールの運営、維持管理について、良好な管理を行ったか。					

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【せんなん里海公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(4) 施設の維持管理の内容、適 格性及び実現の程度	運動施設について、良好な管理を行ったか。(頻度および技術について確認。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コート2面、観覧席、付帯設備、シャワー及び更衣室、トレーニングルーム、多目的ルーム、会議室の貸出しを行った。 ○大会やイベント開催時には、利用時間を延長するなど、利用者サービスに努めた。 ○府営公園管理要領等に基づき、公平かつ透明な使用許可手続きを行った。 ○毎週火曜日を基本とし、コート内への異物混入の点検、コートの整備を行った。 ○コート利用が集中した後、不陸が生じるため、レイキヤトンボにより、コート全面を均一に整地した。 ○4/29観覧席の点検を実施した。 ○8/13コート周囲に飛散した砂をクリーナーで清掃した。 ○8/13観覧席約3,000席の座椅子と床面を清掃した。 ○9/7砂を整理するトンボの点検と修繕を実施した。 ○8/14ビーチコート及び浜コートの不陸整正を重機で実施した。 ○9/7浜コートのラインの点検と修繕を実施した。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○提案どおり全ての項目を実施、運動施設の良好な環境が維持管理できたため、A評価とした。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○ビーチバレーコートを適切に管理しており、コートと付帯設備を良好なコンディションを保ち施設利用の提供を行っている。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>ビーチバレーコートの良好なコンディション保持は評価できる。引き続き、幅広い利用者の利便性向上に努められたい。</p>
	特殊庭園について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。)					
	重要公園施設について、良好な管理・運営を行ったか。					
	管理対象外施設である海岸管理者との連携や海岸利用者について応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】</p> <p><海岸管理者との連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ○海岸管理者との緊急時等の連絡網を確保し、協力体制を形成した。 ○潮干狩り期間は、管理組合、海岸管理者と調整し、利用者へ総合的な案内を行った。 ○5/3自然海岸沖に水死体を発見、海岸管理者に連絡し対処した。 ○4/23ときめきビーチ突堤の点検蓋の落下を発見、安全措置を行い、港湾局に連絡した。 ○6/11海岸へのロープ上に点字ブロックの破損を発見、港湾局に連絡、応急措置した。 ○7/29田山川河口部に流出障害を発見、管理者に連絡した。 ○10/2田山川河口部の立入り禁止柵に腐食を発見、港湾局に報告した。 ○10/29ビーチビーチで水死体を発見、関係各署に連絡、適正に処置した。 <p><海岸利用者への利用指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ○立入禁止区域への進入や危険行為等が発見した場合は、利用指導を行い、海岸管理者へ報告した。 ○4/3さとうみ磯浜への侵入者があり、水上警察と連携して指導した。 ○4/3さとうみ磯浜に所属不明ボートの侵入があり、水上警察との連携して注意した。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○提案どおり海岸管理者と連携、事件・事故対応や不具合箇所への対処、利用指導などを行うことができたため、A評価とした。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○海水浴や潮干狩り利用者への対応のほか、海岸利用の安全確保のための清掃活動やトラブル防止のための関係行政機関との連携を強化し、公園内外の周辺地域全体での事故ゼロを達成している。</p>	A	<p>清掃活動やトラブル防止のための関係行政機関との連携を強化している点や、公園内外の周辺地域全体での事故ゼロを達成していることは評価できる。</p> <p>引き続き、危機管理体制の充実に努められたい。</p>
自然環境の維持創出、自然環境学習の取り組みについて応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】</p> <p><自然環境の維持></p> <ul style="list-style-type: none"> ○うみべの森を育てる会との協働により、海岸林の維持、ササユリや陸ガニなど希少動植物の生育環境を維持した。 ○さとうみ磯浜周辺に群生し始めている、ハマサジ、ハマヒルガオなどの海浜植物の生育環境を保全した。 ○4/6「カニの道」での除草時に、地際で刈り取らず、湿度を高め、カニの隠れ家とした。 ○4/15「カニの道」の湿度確保のため、導入水の受け口に水質浄化装置を設置した。 <p><自然環境学習の取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○しおさい楽習館やさとうみ磯浜を拠点に以下の学習会や観察会、体験会を実施した。 (4/1海藻おしば教室(25人参加) / 4/29生きもの観察日記をHPIにて配信 / 5/13チリメンモンスターを探そう / 5/15海藻おしば教室(42人参加) / 5/16自然海岸でアマモの移植 / 5/26大阪湾一斉調査(60人参加) / 6/6ユーカリリースづくり(18名参加) / 6/9海藻おしば教室(18名参加) / 6/12~30磯浜観察と同定調査(計203人参加) / 海岸清掃と環境学習(62名参加) / 6/4親子自然体験会(34名参加) / 7/1~管理事務所ロビーにカブトムシを展示 / 7/31チリメンモンスターを探そう(17人参加) / 8/12陸ガニの放仔を観察しよう!(36人参加) / 8/25ウミホタル観察会(100人参加) / 8/26ウミホタル観察会(50人参加) / 9/2陸ガニウォッチング / 9/9海の安全教室とシュノーケリング教室(24人参加) / 9/25磯浜観察(85人参加) / 10/10海藻おしば教室(6人参加) / 10/13海藻おしば教室(26人参加) / 10/27海藻おしば講習とウミホタル教室(13人参加) / 11/2~4アマモサミット2018in阪南に実行委員として参画、パネル展示を実施 / 11/4 90cm水槽(3槽)をしおさい楽習館に展示 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○提案どおり自然環境の維持創出、自然環境学習に取り組むことができたため、A評価とした。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○しおさい楽習館で「海藻おしば」講習会を毎週開催し、自然環境保護団体等と連携した観察会等を多数実施するなど、平成29年3月開設の新たな公園施設の利活用と利用者へのPRに努めた。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>新たに開設したしおさい楽習館で「海藻おしば」講習会を毎週開催し、自然環境保護団体等と連携した観察会等を多数実施するなど、平成29年3月開設の新たな公園施設の利活用と利用者へのPRに努めた点は評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>	

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価 (S~C)	施設所管課の評価	評価 (S~C)	【せんなん里海公園】 評価委員会の指摘・提言
	利用者の安全確保対策の具体的方策。(日常巡視や定期点検、瑕疵の早期発見、事故の未然防止及び早期対応、衛生管理や防犯対策などが適格に実施できたか。適正なタイミング・手法の補修が実施されたか。予防保全となる対応について確認。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日常巡視は、毎日、午前1回、午後1回の計2回、2名1組の体制とした。 ○日常巡視を通じて、施設の破損や変状などの異常、危険箇所の早期発見に努めた。 ○衛生管理では、7月～9月に週2回、0-157感染防止対策として、トイレを消毒した。 ○防犯対策では、夜間照明点検、危険木点検を通じて、園内の照度や見通しを確保した。 ○危険動物対策では、セアカコケグモ一斉駆除を実施した。 ○安全教育では、月1回、作業時の危険予知トレーニング(KYT)を実施、管理器具の安全講習会を実施した。 ○安全対策では、潮騒ビバレー、しおさい楽習館にAEDを設置した。 ○遊具点検では、日常点検及び定期点検、GW前、秋の遠足前に臨時点検を実施した。 ○その他、以下の点検を実施した。 (ハートフルゲート・門扉点検／潮騒ビバレーの扉点検／金比羅丸跡地の陥没点検／防災カルテ海岸段丘部の落石点検(以上毎月1回)／6/25～27下水ポンプを点検／6/17・9/22空調設備点検／6/1消防設備点検／6/28潮騒ビバレー防火対象物点検など) <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○提案どおり利用者の安全確保対策に努めることができたため、A評価とした。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○夏期の施設衛生検査の実施と健康被害の防止を行い、利用者への十分な配慮を行っている。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>夏期の施設衛生検査の実施と健康被害の防止を行い、利用者への十分な配慮を行っている点などは評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>
	危機管理体制。(非常時対応について、訓練や研修を実施したか。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大阪府の危機管理体制と連動した独自の非常時業務実施要領に基づく体制を構築し、気象警報発表時(6/18、7/5～7/8、7/28、8/23、9/4、9/10、9/30)に、計7回の非常時体制を配備した。 ○暴風警報発表時(7/5～7/8、7/28、8/23、9/4、9/30)には、公園の利用禁止措置と園内放送等による来園者への退去勧告等、適切な対応を行った。 ○非常時に備えた災害訓練、消防訓練を計2回実施した。 (6/13大阪府合同風水害訓練に参加／6/16自衛消防訓練を実施) <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○提案どおり非常時に備えることができたため、A評価とした。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○気象警報等発令時の体制構築や本府と連携した災害訓練を行っている。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理運営がなされている。</p> <p>災害発生時の適切かつ迅速な対応、ならびに、気象警報等発令時の体制構築や本府と連携した災害訓練を行い、防災安全意識の向上に努めたことは評価できる。</p> <p>引き続き、危機管理体制の維持・充実に努力されたい。</p>
(5) 府政策との整合	応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「大阪府障がい者サポートカンパニー制度」、「男女いきいき・元氣宣言」の登録済み。 ○知的障がい者を雇用するほか、シルバー人材センターを通じて、高齢者の就労を支援した。 ○10/28認知症への理解を深めるイベント「岬町RUN伴2018」の開催に協力した。 ○11/5障害者支援団体NPO法人リライブが主催する潮騒ビバレーコートでの健常者と障がい者の交流イベントに協力した。 ○4/1海藻おしぼ教室、4/22ビーチテニス教室、5/5裸足キッズ集まれ！、6/24親子自然体験会など、親子で楽しめるイベントを開催し「こころの再生府民運動」のオフィシャルサポーターとしてPRグッズを配布した。 ○10/20防災安全フィールドワークキャラバンでは、府営公園ブースを設置、ウミガメの骨格標本の展示とクイズ、観察日誌帳の配布するなど積極的に参加した。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○提案どおり大阪府が実施する事業に対して協力できたため、A評価とした。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○行政への協力や公益事業への取り組みにも継続的かつ積極的であり、十分な成果を上げている。</p> <p>○また、就業支援事業や府民協働、環境問題についても本府の施策を理解し、計画どおりの実績が上がった。</p>	A	<p>府の企画に積極的に協力している点や、就労支援事業や府民協働、環境問題について、府の施策へ協力し、適切な管理運営に努めていることは評価できる。</p> <p>引き続き、良好な管理運営に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	【せんなん里海公園】 評価委員会の指摘・提言
			(S~C)		(S~C)	
II さらなるサービスの向上に関する事項						
(1) 利用者満足度調査等	アンケート結果はどうであったか。これを受けてより満足度を向上させるために、どのように取り組むか。	<p>【実績】</p> <p>○総合的評価の全般的な満足度は、「S(1.6)」であった。</p> <p>○植物管理は、「草刈」は「A(1.5)」であったが、「樹木」(1.7)、「花壇」(1.6)は、いずれも「S」評価であった。</p> <p>○施設管理は、「便所」は「A(1.5)」であったが、「ゴミ」(1.7)、「施設」(1.6)、「バーベキューエリア」(1.6)は、いずれも「S」評価であった。</p> <p>○サービスは、「職員」は「S(1.6)」であったが、「高齢者や障がい者、乳幼児等への配慮」(1.4)、「売店」(0.5)、「イベント」(1.0)、「ホームページやイベントの案内」(1.0)はいずれも「A」評価であった。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○「全般的な満足度」が1.6点であったため、S評価とした。</p> <p>○サービスでは、昨年に比較すると、評価の向上が見られるが、さらなる研鑽が必要である。</p> <p>○売店では、店舗の設置場所や営業時間の周知方法を工夫したい。</p> <p>○イベントでは、参加者ニーズを反映させ、より楽しいイベント内容への充実を図りたい。</p> <p>○HPやイベント案内では、より見やすいHPへの更新、情報発信のメディアや依頼先の充実を図りたい。</p>	S	全般的な満足度の評価が「1.6」と高く、各項目においても数値が平均を上回っており、高い満足度を示す結果が得られた。	S	総合的な満足度は良好で、全体に高い評価を得ている。適切な管理運営が行われていると評価できる。更なる満足度向上に向け、引き続き適切な維持管理・運営管理に努められたい。
	前年度のアンケート結果に対して、より満足度を向上させるために、どのような取り組みを行ったか。	<p>【実績】</p> <p>○トイレが暗い！との声に対し、「トイレ明るい化計画」を策定、阪南トイレ2と阪南トイレ4をLEDに更新し、基準照度を確保した。</p> <p>○駐車料金が高い！との声に対し、「フォトコンテスト」の優秀作品への特典として、駐車場優待券10回分を優秀者6名に進呈、また、さくらフェスなど大型イベントの際に、駐車場を無料開放した。</p> <p>○案内看板が少ない！との声に対して、園内の総合案内サイン3箇所を更新、触知板もリニューアルした。</p> <p>○売店を充実！との声に対し、潮騒ビバレー付帯食堂に、うな井や串カツ定食などを新たなメニューを追加した。</p> <p>○高齢者や障がい者への配慮として、ホームページのバリアフリーマップを更新、園内案内に積極的に活用した。</p> <p>○夏季のトイレは毎日清掃を実施し、衛生的な環境に努めた。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○アンケートの評価に対して、できることから着実に改善をはかり、若干ではあるが、昨年に比べ、評価が向上したことから、S評価とした。</p>	S	当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案以上の事項を実施。 <p>○前年度のアンケートで頂いたご意見に対し、照明やサインの更新など、きめ細やかな対応を実施した点は、高く評価できる。</p>	S	前年度のアンケート意見に対し、照明やサインの更新など、きめ細やかな対応を実施した点、利用者の要望に応じた駐車場の無料開放した点、そしてホームページでのバリアフリーマップによる案内をした点は高く評価できる。引き続き、幅広い利用者の満足度向上に努められたい。
(2) その他創意工夫	提案した事項以外に行った業務があるか。	<p>【実績】</p> <p>○「カニの道」に生息する陸ガニを保全するため、園外から流れ込む雨水を利用、水質浄化装置を介して、素堀側溝へと水を導入させた。</p> <p>○鯉のぼりをしおさい楽習館の軒下へと設置、手の届く「屋根より低い鯉のぼり♪」として、インスタ映えスポットを提供した。</p> <p>○潮騒ビバレー活性化利用に向けて、近隣宿泊施設マリンロッジ海風館と連携した「スポーツ合宿プラン」を企画した。</p> <p>○全国規模で大都市圏を中心に開催されてきた話題のイベント「ラン・サップ・ヨガ」の誘致に成功した。</p> <p>○磯浜の観察など、園内での生き物とのふれあいを支援するため「生きもの観察日記」を作成、HPで配信した。</p> <p>○環境や生き物への関心を高めて頂けるよう、「観察日誌帳(A4版ノート型36ページ)」を自主事業の還元方策として製作、配布した。</p> <p>○さとうみ磯浜を身近に感じて頂けるように、楽習館にライブカメラを設置、刻一刻と変化するリアルタイムの磯浜の映像をHPに公開した。</p> <p>○潮風を感じながら、誰でも参加できる「はじめてのヨガ教室」を開催した。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○提案以外の創意工夫を実施、お客様を楽しみ喜ばせ、公園利用活性化へとつながる新たな仕掛けを幅広く提供することができたため、S評価とした。</p>	S	当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案以上の事項を実施。 <p>○新たに誘致した「ラン・サップ・ヨガ」イベントの実施や、インスタ映えスポットの提供など、利用者のニーズに応えるサービス提供は高く評価できる。</p>	S	新たに誘致した「ラン・サップ・ヨガ」イベントの実施や、インスタ映えスポットの提供、そして観察日誌帳の製作など、利用者のニーズに応えるサービス提供は高く評価できる。引き続き、新たな取り組みを開発しながら来園者の満足度向上に努められたい。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	【せんなん里海公園】 評価委員会の指摘・提言
			(S~C)		(S~C)	
Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目						
(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	収支は予定どおりか。支出超過、収入不足となっていないか。支出計画に沿った支出配分がなされているか。	【実績】 ○収支は、概ね予定どおりである。 ○支出は、計画通りに執行した。 【自己評価】 ○提案どおり計画に従い執行できたため、A評価とした。	A	事業実施計画書に沿った適正な予算管理ができています。	A	ほぼ計画的な予算執行である。引き続き、適切な収支バランスの維持に努められたい。
(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	管理体制表及び職員配置計画。(応募時に示した管理体制を構築したか。)	【実績】 ○最低限のポスト数となる、責任者:1P、事務所職員:1P、施設窓口職員:1P、巡視点検職員:2P、以上の人員を配置した。 【自己評価】 ○提案した管理体制及び職員配置を行うことができたため、A評価とした。	A	当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。	A	—
	必置技術者等の配置。(技術者を配置したか。)	【実績】 ○必置技術者として、一級造園施工管理技士、公園管理運営士を配置した。 ○電気主任技術者資格が必要となる電気設備点検を、関西電気保安協会に委託した。 【自己評価】 ○提案した必置技術者等を配置できたため、A評価とした。	A	当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。	A	—
	労働災害等未然防止のための管理運営。(外注・下請を含む職員の労働災害や維持管理業務に起因する来園者事故など公衆災害の発生はなかったか。また、従業員への安全教育・訓練の実施状況について確認。)	【実績】 ○労働災害について、該当が無かった。 ○公衆災害(人身)について、該当が無かった。 ○公衆災害(物損)についても、該当が無かった。 ○安全教育では、月1回、作業時の危険予知トレーニング(KYT)を実施、管理器具の安全講習会を実施した。 【自己評価】 ○労働災害、公衆災害(人身)、公衆災害(物損)において、処置不要であったため、A評価とした。	A	当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。	A	労働災害に関する問題は発生しておらず、引き続き、適切な管理運営に努められたい。
(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	法人等の経営状況。(経営状況に問題は無い。指定管理業務の継続に影響を与えないか。)	【実績】 ○全構成団体において、経営状況に問題はなく、収支計画もほぼ予定どおりに実施した。 【自己評価】 ○指定管理業務の継続に影響はないと判断できるため、A評価とした。	A	構成団体の経営状況に問題はない。	A	財政状態はおおむね良好であるが、直近に営業利益と営業CFがマイナスの構成団体がある。